

事業所名		こども発達支援 かざなみ				支援プログラム（参考様式）		作成日		2025 年		7 月		16 日	
法人（事業所）理念		一人ひとりの「その子らしさ」に本気で向き合います。すべてのお子さまが自分らしく輝き続け、誰もが安心して希望を描ける社会を目指して全力で支援します。													
支援方針		応用行動分析（ABA）、感覚統合、モンテッソーリ教育などの要素を取り入れ、発達段階に合わせた個別的かつ柔軟な支援を提供します。個別支援と集団活動を通じて非認知能力（協調性・自己表現・自己抑制）も育みます。													
営業時間			10 時	00 分	から	17 時	30 分	まで	送迎実施の有無		あり				
		支 援 内 容													
本人支援	健康・生活	基本的生活習慣（排泄・手洗い・衣服の着脱など）の自立支援を行います。日々の健康観察や生活リズムの確認を行い、遊びを通して自然に生活スキルを学べる環境を整えます。視覚教材を利用した空間の構造化、およびスケジュール表などを用いた時間や課題の構造化を行います。													
	運動・感覚	感覚統合の視点から、トランポリンやゲームなど楽しく身体を動かすプログラム遊びを通して身体の使い方や動きのコントロールを支援します。利用児童ごとの感覚の特性を踏まえた活動や学習環境の調整、対処法を行います。													
	認知・行動	丁寧なアセスメントを通じて利用児童の認知特性を把握し、それぞれの児童の特性を踏まえた支援を行います。集中力・記憶・推論・判断を育む認知課題を、遊びや制作活動に組み込みます。視覚支援や構造化を活用し、自己理解と行動調整を促進します。													
	言語コミュニケーション	絵カードやジェスチャー、リズム遊び、絵本などを活用して発語や意思表出を支援します。コミュニケーションの楽しさを体験できるよう支援します。発達段階に合わせた読み書きの支援も行います。													
	人間関係社会性	集団活動やごっこ遊びを通して、自己表現・他者理解・ルールの理解・自己抑制などの力を育みます。安心できる関係性の中で社会性を伸ばします。													
家族支援		・保護者との情報共有や面談、ペアレントトレーニングを通して、家庭との連携を図ります。 ・保護者が安心して相談できる体制を整え、日常的な困りごとにも対応します。							移行支援		保育園や幼稚園等との連携を図り、進級・進学時の支援記録やサポートブック等の提供を行います。				
地域支援・地域連携		福祉施設・教育機関・医療機関等との連携を通じて継続的な支援体制を構築します。							職員の質の向上		児童の成長や特性に即した支援を実現するため、職員は初任者研修・外部研修・eラーニング等を通じて専門性を高めます。				
主な行事等		季節に応じた制作や遊びを通じ、感性や表現力を育みます。親子で参加する行事を通して、安心感と家庭との連携を深めます。													